

食卓の元気のために。

CO-OP
コープネット

いはらきコープ

茨城の食と農を 応援します。

茨城県は全国有数の農産生産県。身近なところで農産物が生産されているという環境を大切に、いはらきコープは、地元の農産物を地元の消費者へという「地産地消」に取り組んでいます。県内産の農産物の供給を積極的にすすめることは、日本の食料自給率の向上につながる取り組みでもあります。



01 産地とともに 歩みつけて



グリーンBOX

※イラストはイメージです。

県内の7つの産地を結んで、新鮮な旬の野菜6品目をセットにして届ける「グリーンBOX」は、1996年から始まりました。

産地では、利用登録したいはらきコープの組合員のために、週ごとに届ける野菜の計画を立て、作付け、管理、収穫。一箱一箱が農家の方々の努力の結晶です。

約3000人の組合員が、年間39週届く「グリーンBOX」を利用。利用者は、いっしょに届くレシピ付のおたよりで産地の様子を知るとともに、毎年開催している産地での交流会にも参加することができます。

02 茨城の農産物を広めたい

2008年3月、いはらきコープはコープネット事業連合（※1）とともに、JA全農いはらきとの提携を始めました。消費者と生産者の交流を促進し、茨城の農産物の生産・消費の拡大、地域社会の活性化、地域産業の振興により社会貢献を進めることを目的としています。

JA全農いはらきを通じて茨城の農産物は、コープの商品カタログ「ハビ・デリ」に掲載され、いはらきコープを含めたコープネットグループ1都7県（茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、東京都、長野県、新潟県）の生協の組合員に利用されています。

茨城県内のコープネット産産地は、毎年増加し、現在、JAも含めて30産地あります。県内産品のコープネットでの供給金額は、2007年4月から2008年3月までの一年間で、約21億5千万円にもものぼり、1都7県の中で最大の規模となっています。

JA全農いはらきとの提携は、事業面だけでなく、昨年11月には2万人が参加した食育イベントを共催するなど、茨城の食と農のために力を合わせています。



茨城の農産物が1都7県の生協組合員に利用されています。

（※1）コープネット事業連合

消費者、組合員のくらしへの最大貢献をめざして、同じ理念・ビジョンを掲げるいはらきコープ・ちびコープ・コープけんま・ちびコープ・さいたまコープ・コープとうきょう・コープながの・コープにいがたが連携し、商品の開発や調達などを委託している事業連合です。

昨年12月には、コープネットエリア内のJA日都県本部と連合会を結成。大生産地と大消費地を抱えるコープネット管内をひとつのエリアと考え、「エリア内地産地消」「エリア内交流」を進めています。

03 お米育ちの産直豚肉も 地産地消で



※イラストはイメージです。

飼料米の活用は、休耕田の有効活用、自給率の向上が期待される取り組みです。今年も、まず、岩手県のJAいわて花巻などと進めてきた、飼料米で育てた産直豚肉の供給を開始。そして、茨城県内での飼料米産直豚肉の取り組みも地産地消としてスタートします。

04 いつでも消費者の声を受け止めています

いはらきコープでは、商品などに関する組合員からの声、いつも行き交っています。カードやメールでの「こえのポスト」（※2）や電話などで、毎月1000件以上の「声」が集まっています。

また、直接声に出されない場合でも、対応する職員は常に組合員の声を受け止めて、「頼たこと頼たことカード」（※3）に記入して提出。事業の改善などに生かされています。



（※2）「こえのポスト」

いはらきコープへの意見・要望を記入して提出していただくカード。ホームページから提出できる「Web版こえのポスト」もあります。

（※3）「頼たこと頼たことカード」

コープデリ宅配や店舗で職員が記入するカード。事業の改善のために対応の中で気がついたことなどを記入して提出します。





いはらきコープ
理事長 佐藤 洋一

金融危機、企業の業績不振、食品の偽装など、暮らしの不安は増すばかりです。しかし、そんな時だからこそ、協同の力が必要とされるのではないのでしょうか。生協は、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために、一人ひとりの消費者が自発的に手を結んだ協同組合です。

食の問題につきましては、今回皆さまにご案内しているように、個々の食品の安全確保の対策はもちろんのこと、日本の食料自給率向上のために、さまざまな

取り組みをすすめていく所存です。

そのほか、お年寄りが、住み慣れた街で安心して暮らせるようにとすすめている、福祉介護サービスや組合員のボランティア活動など、コープの福祉の取り組みには、たくさんの期待が寄せられています。

環境の取り組みでは、県内の環境保全や地球温暖化防止のために、地域の皆さんや学校の子どもたちといっしょに「いはらきコープ環境基金」を活用し、協同の輪を広げています。

学び合い、確かめ合い、そして行動する力を育む場、それがいはらきコープです。安心して暮らせる社会、希望のもてる社会づくりに向けて、広く県民の皆さまに支えていただけるいはらきコープをめざして努力してまいります。

「食卓の安心のために」 いはらきコープが進めていること



いはらきコープとごいっしょに

コープデリ宅配



商品カタログ「ハビ・デリ」をメインに、毎週1回ご注文いただいた商品を宅配。子育て中のご家庭や一人暮らしのお年寄りの方などにも喜ばれています。計画的な購入で家計の節約にもお役に立っています。もちろんパソコンや携帯電話でのインターネット注文もできます。

配達手数料の割引制度

- 赤ちゃん割引
母子手帳交付日から出産後1年までに申請いただいた方は52週間手数料無料。
- シルバー割引
65歳以上の単身または夫婦世帯の方は手数料が84円に割引となります。
- ふれあい割引
ご本人または同居するご家族が障がい者手帳をお持ちの場合は手数料無料でインターネット注文もできます。

あなたの近处にもコープの 宅配センターが...

- コープデリ阿見センター 阿見町うずら野
- コープデリ藤代センター 取手市平野
- コープデリつくばセンター つくばみらい市社
- コープデリ藤田センター ひたちなか市市原
- コープデリ水戸センター 水戸市小吹
- コープデリ美野センター 小島玉市羽島
- コープデリ鹿島センター 鹿嶋市宮中
- コープデリ那珂センター 那珂市市原
- コープデリ三和センター 古河市上片田
- コープデリ岩瀬センター 桜川市長方
- コープデリ王寺センター 日立市王寺
- コープデリ千代田センター 下妻市康崎
- コープデリ常陸太田センター 常陸太田市岡田町
- コープデリ鉾田センター 行方市岸沢
- コープデリ守谷センター 守谷市百合ヶ丘

コープのお店(県内に4店舗)



- 担当者が自作の歌を録音して売り場で流したり...コープのお店は、楽しいお店、ホッとするお店です。
- コープひたちなか店(ひたちなか市高場)
 - コープ水戸店(水戸市元吉田町)
 - コープつちうら店(土浦市小松)
 - コープラしく店(牛久市南町)

いはらきコープへのご加入については
お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先
いはらきコープ営業推進部

フリーコール
0120-92-2643 (9:00~18:00/土日定休)
ホームページ <http://ibaraki.coopnet.or.jp/>